夕刊
磐城日日
発行所
磐城日日新聞社
福島県磐城市渚廻五一
電話387番
編集兼発行人 經村清

新生乳
いづみ牛乳
牛乳で一家楽しく健康に
TEL 59
いづみ酪農組合

磐城市定例議会 追加豫算など審議

既報、磐城市議会は十二月定例議会を十九日行うことになつているが、左の議案を審議することになつた。

一、所属未定地の市の区域への編入処分申請について。

二、磐城共立病院組合規約一部改正について。

三、土地買収について。

四、昭和三十年度磐城市歳入歳出追加更正豫算について。

五、磐城市特別会計追加都市計画事業第一土地区劃整理費について。

これによると問題になつている市名変更についての議題がなく、当局よりの提案はないものと豫想されるが、緊急動議として議員提出の公算も大であるが、市議会は市名改称問題はその取扱について慎重を期している。市名改称特別委員会は、十二月定例議会の前に出県し県の意向を打診するものと豫想されている。市名変更等の重要案件については知事の裁定が必要であり、市議会の決議に優先するものとされており、同委員会の出県により知事との話合の如何により市名改称に同意の意向があれば、市議会に上程される事が予想されており、市名変更の問題のカギは知事がにぎつていることになる。

元町議等有志 市名變更對策を協議

十四日午前十時、磐城市小名浜公民館に於て元町議等小名浜地区有志が集まり、市名改称問題について意見の交換及これについて協議することになつた。これは最近特に市名変更問題が世上に論議され、江名地区民大会、小名浜各区長会等の一連の動きがあるので、旧小名浜町の元老格である小浜長太郎、馬上徳十郎の両氏が発起となりこれ等有志に呼びかけ、市名変更問題について対策を協議することになつたものである。

くらしの懇談会

磐城市小名浜第一婦人会長松田美枝さんは同氏宅に於て「くらしの懇談会」を行うことになつた。主婦が家庭経済を研究することは文化的生活の絶対条件にもなるので、この会を通じて家庭合理化の研究を行おうという主旨のもので小名浜第一婦人会のグループ活動である。

正月料理の講習会

十八日小名浜公民館

来る十八日午前十時より小名浜公民館ホールに於て小名浜第一婦人会主催の正月料理の講習会を開講することになつた。講師は波木井シゲさんで主に正月の重詰料理である。参加希望者は各分会長に申込めばよいことになつて居る。尚、当日材料費として一〇〇円位はかかる予定である。

古材使用御法度で 渡邊校 新築設計 仕直し

既報昨十三日磐城市議会土木委員会は渡辺小学校新築に伴う入札を行うことになつていたが、同校の設計図の仕直しで入札は流会となり後日行うことになつた。これは公共事業である学校建設については、古材を使用することが出来ない事になつて居り、廃止になつた渡辺校の新築設計は一部古材を使用する様になつて居り、この為設計の仕直しとなつたものである。

港橋—水産高校 道路舗装を開始

磐城市栄町港橋から県立小名浜水産高等学校前までの県道舗装工事は去る十日より市内二瓶組の手によつて工事に着手した。

この道路は、去る九月福島県定例議会で決定した小名浜港一万屯フ頭の完成整備漁港の整備等綜合開発による産業道路の完成の方針にのつとつた工事の一つである。尚九百四十五万円の予算を計上したこの道路の完成によつて、尚一段と市の型態が備うことになる。完成は来春三月三十一日の予定である。

専賣公社員 赤りで隔離

磐城市雇人、公務員小松みつえさん（二〇）は専売公社の定期検便の結果健康赤痢保菌者と判明し自宅隔離した。

酒は
清世界
上朝神町一九
清水屋商店
小野義一
電話〔四五六六番

中学卒業生は 箱根方面 修学旅行？ 小学生は東京か

磐城し内小中学校の昭和三十年度卒業生の修学旅行のコースについては、来る十九日頃磐城し公民館に於て磐城し教育委員会が小中学校共に二つのコースを設定し、参加PTAと校長会等が集つて再検討することになつている。

尚、設定されたモデルコースは次の通りである。

◇中学校の部

▼第一案

小な浜—羽田—横浜—小田原—（強羅）—湖尻—元箱根—十国峠—熱海—小田原—江の島—鎌倉—（東京）—上野公園—神田＝交通博物館—有楽町＝東京三新聞社—上野発、帰校のコースである。

（ ）は宿泊場所。

◎主な見学場所

第一日 小田原城跡、強羅

第二日 鎌倉、大仏、八幡宮鎌倉宮、円覚寺。

第三日 交通博物館、東京三新聞社。

◇第二案

小な浜—日光—東照宮—（中宮し）—日光駅—羽田—横浜—鎌倉—江の島—上野発帰校のコースである。

◎主なる見学場所

第一日 中宮し、中禅寺湖、華厳滝。

第二日 二荒山神社、上野科学博物館。

第三日 羽田空港、横浜、鎌倉、江の島。

のコースであるが、来春卒業する一、一六〇めいの父兄を対象にした与論調査の結果としては、第一案に賛成は七一六めいであり、第二案賛成は三二六めいという数字が出ている。

■小学校の部

▼第一案

小な浜—上野—神田交通博物館—靖国神社—議事堂—皇居前—日比谷—銀座—三越デパート、地下鉄上野動物園—上野発帰校のコーすに豫定されている。

◎主なる見学場所

上野駅、交通博物館、靖国神社、議事堂、皇居前、銀座、三越、動物園である。

▼第二案

小な浜—塩釜……船……新松島—仙台発帰校。

◎主なる見学場所

塩釜神社、松島、瑞巌寺、水族館文化センター、仙台し、し各所である。

尚、小学校生については卒業者一、一三〇の父兄中、第一案賛成七四%であり。第二案賛成二二%になつている。

尚、これらのモデルコーすを決定するために近くPTA、校長会、教育委員会等で組織した機関を作ることになつている。

市政を民主化せよ

—定例市議會を前に—

磐城市議会議員 杉山美佐雄

本年最後の定例議会を前にして十カ月足らずの議員生活の中で経験した市政の実態を市民に訴え批判を願いたいと思う。

総括的に云えば民主々義を標謗する日本国に於て何故磐城市だけがかくも非民主的な政治を行わなければならないのか？と云うことである。このことについては、理事者は固より我々議員も併せて責任を負うべきであろう。

即ち、理事者が市議会に提案し、市議会がこれを可決した事項すら行われて居ない。例示すれば年度頭初豫算決定に際し市職員の定時昇給昇格を市長が提案し、議会はこれを承認したが未だ実行されて居ない。これは一体どうしたことだろう。市長が「こうしたい」と言うから議会が「よかろう」と定めたのに市長は実行しない。五万四千の市民代表である議員の権威は全く地に墜ち、議会政治の危機が将に到来して居る。

市長はやるつもりもないのに提案したのだろうか？それを真面目に審議した議員の面目は泥まみれだ議員諸賢しつかりして下さいと私は叫びたい。まだある。某地区の集会所（公民館か？）を設讃する提案が実際はその部落のお寺の改修整備であつたり、一二〇万円余の豫算を初めから三〇万円もさばを読んで提案し、それを他に流用しようとしている。（某保育所建設）

この様な極めて杜撰な提案や議員をごまかそうとする態度の底を流れるものは甚しい議会蔑視でありとりもなおさず民主々義への破壊思想である。

市の財政面を担当する某部長の如きは、己が一介の市吏員であり政治的責任や権限の無い立場を不顧議会に対してこう慢な態度をとつているが、議員諸侯は誇りを持つてこうしろ、ああしろと指図する態度をとつてもらいたい。もとより三権分立の建前から立法府が行政府に不当介入することは厳に慎しまねばならないが。

口を開けば緊縮をとなえるが、私に言わせれば実態は相当無駄使いもしている。港湾協会総会への大量（必要以上）人員の参加や、ぜいたくな椅子の購入（これは議会自らが改めるべきであろ）或いはネオン輝く広告塔への補助などそれである。翻つて市内の道路を見れば、でこぼこはあたりまえの如く雨降れば水びたしとなる箇所の如何に多いことか？又下水道の不備は市内到る処に汚水をたたえあぶれさせ、悪臭紛々として衛生環境は零に近い。

きれいな広告塔が市民の生活にどれだけ利益するのか？道路をよくし、下水を完備する方が市民はどれほど喜ぶか知れない。何かしらちぐはぐなどこか一本抜けているのが現在の市政だ。その原因は五万四千市民の立場に立つて日常生活の利便を増大する民主的政治観念の欠除であろうと考える。市理事者並びに議会の猛省を促すと同時に市民各位の市当局及議会に対する監視を要望する次第である

市名問題について

次に今騒がれている市名改称問題についていささか愚見を述べたい既に感情的な対立となり然も相当深刻化している模様であるが、何とか相互の感情をやわらげる途はないものか？私自身の結論から言うと「小名浜市の方が良いように思われるが、合併建市後二年たらずの間に市名変更を持ち出し、ごた〳〵するなどは他所から見て如何にも不見識であり笑われるだけであろう。談し合いを続けることは結構だが、ケンカの態勢を相互が続けることを速かに止め棚上げにして、先ず旧小名浜と江名地区との調和を計るべきである」と云うことだ。

最後に江名地区の市民の方にお願いしたい。臨時保育所の建設も市名問題がからんで流産の危機にある。然し子供に罪はない。私は厚生委員の立場からも何とか実現したいと考えるが、市名問題と切り離して進めては貰えないだろうか？但しこれはあくまでお願いであることを申添えておく。

★

天氣予報

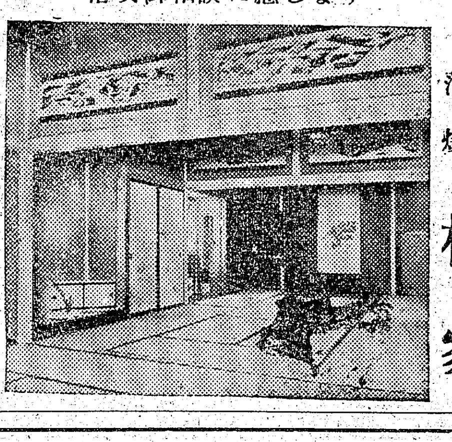
【今晩】北よりの風、晴後曇りから一時雨となりましよう。

【明日】北西の風、始め曇りですが、後晴れましよう。

【明後日】晴、時々曇。

【海上】今晩も明日も風波があり明後日も多少風波がありましよう

磐城の冬は暖い
でも空ツ風は冷いですぜー
特賞電氣冷藏庫の当る
抽籤券付
電氣アンカ電氣コタツ
責任保証付大特賣
アンカ（東北電力推奨）
1280円—1550円
コタツ（〃）
1350円—1890円
★暖房器の御相談なら平電氣ラジオ商工組合加盟店又は東北電力営業所・電業所・散宿所へ
★御申込は
昭和31年1月10日まで
平電氣ラジオ商工組合
東北電力KK平営業所

忘年會クリスマスには
格安御相談に應じます

増築大廣間
蒲焼 すし
杵家
磐城市中島 電三〇六

御婚禮シーズン

ケヤキ三重 八、五〇〇円より
洋服タンス 四、八〇〇円より
桁衣九〇〇円より
七五三の祝漆器賜物
沢山取揃てあります
御婚礼調度品は安心して買える譽屋へ
自家製造
専門
漆器店
譽屋タンス店
小名浜中島 電三六五

内科・外科・X線科
石井醫院
入院随意
磐城市本町 話四七二番

会津若松で磐城市水産物展示会

磐城市の水産物展示会が会津若松市に於て開催される企画が、磐城市水産商工課及水産業者の間に於て準備されている。

同水産物展示会は、水産磐城市の宣伝を兼ねて行われるものであるこの展示会は豫算十万円（内県補助約七万円を豫定）を以て行われ県の補助の見透しはほぼ得ている模様であり、唯だ、会場地の会津若松市の冬期間中の積雪等の天候の件及会場の選定、同市後援団体の選定及交渉の問題が残されて居り、これ等の問題が展示会開催条件に合致すれば、同会の日程等の細部が決定し本決りとなるものである。

松田会長等表彰式出席

磐城市小名浜第一婦人会は昭和二十九年十月経済自立貯蓄強調月間に因んで貯蓄した結果、今回仙台郵政局長賞を受ける事となつた。その表彰式が来る十五日午前十一時より郡山市郡山労働会館で行われるので松田会長、ひる田貯金係の両名が出席することになつた。

石城地区駅伝競走

小名濱一、二中初出場

来る二十五日石城中体連主催で石城地区中学校の駅伝競走が行われる。コースは四倉町海気館前をスタートして、大浦支所前－平第六小－平常陽銀行－湯本踏切－住吉郵便局－小名浜鹿島神社－貰手鉱泉－勿来市金山－錦中学校迄の三九、五粁のコースである。

なお、市内小名浜第一中学校よりの選抜選手は次の通りである。

上原正弥、松沢則夫、佐川勲、鈴木勝、斉藤良三、小野貢、青木勝夫、菊地徳蔵、富塚義尚、高村清美、馬上国一、新妻昭平、佐藤滋太郎、中野英夫、三部功

小名浜一中としては初出場だけに現小名浜高校教諭深沢四郎氏の指導のもとに連日猛練習している。

なお、小名浜第二中学校も初出場するが選抜選手は次の通りである小野田勇、木村正志、野崎譲、小野定次、馬目武夫、小松正次、千葉智義、佐々木高、山口勝夫、今川隆、佐藤勝英、佐藤作平、の生徒で同校高木日出男教諭が去る六日より一、〇〇〇米単位に最近式の練習法でトレニんグしている。

現在の選手は去る六月同校開校記念日の校内マラソん大会の折の選抜選手の中から、よりぬいたものであり、四、〇〇〇米を約十四分台で走つている。

勿來との親善柔道

十一日午後一時より磐城警察署道場で磐洋柔道クラブ主催のオール勿来対オール磐城の親善柔道大会が行われたが、その結果は次の通りであつた。

▼少年の部

勿来4――3、5磐城

▼一般の部

磐城11――4勿来

であり一般部は圧倒的に本年も強かつた。

尚、試合終つてから遠藤五段、赤津五段の間で講道館投げの型の披露があり、盛会裡に終つた。

蔬菜市況

■青果　小名浜中央青果市場

たまご二二、五〇－一一ねぎ八〇－一四〇人じん七〇－一四五ごぼう一〇〇馬鈴しよ五〇－一三〇さつま五〇－一二〇大根四〇－一〇丸大根四〇－一二〇ほうれん草九－一四玉な七〇－一四〇もやし七〇へらな一八－七里いも一〇〇－一六〇きりいも一五〇－一〇〇

映画

目白三平

十四日ヨリ十七日迄

キンビ館

解説

貧しい乍らもささやかな我が家の幸福を守つて生きてゆく現代庶民の姿を、サラリマん目白三平の生活に託し、軽妙なタツチで都会の人生の妙味を衝く中村武志原作「目白三平」は、今年上半期の異色作として注目され、千葉泰樹のメガホんに依つて映画化、満都のかつさいを浴びたがこれはその続篇ともいうもので原作「目白三平ものがたり」より脚色の沢村勉が担当した他は、前作同様のスタツプである。

【ものがたり】

目白三平は国鉄本庁厚生課三十六号棒のサリーマんで奉職以来二十数年レクリエシヨん誌「国鉄」の校正をやつている。

近郊のとある露路裏はある貧しい我が実のトタん屋根の下には妻君の文子さんと、春木、冬木の子供達が相変らずの生活を送つている

文子さんは、最近春木達の学校のPTA文化部長に推薦され早速三平のボウナスから外出着を買わねばならないことを主張する。

その交換条件に文子さんは三平の上衣を買うことを提唱するが、三平はその金で内緒で飲み屋太古八へ借金を返さなければならない。三平はボナスが出る度にそんな気苦労をする。

三平が久しぶりで信州の実家に老母を見舞おうと出発する夜、かねて婚約中の村上君と敏子さんが訪ねて来た。

この秋、二人は結婚する筈だが新居が見当らず、敏子さんは自分の家の佐々木靴店の二階を新居にしようと提案するが、村上君は応じないのでけんかをしてその尻を持ち込んだのである。

信州へ行けば行つたで、息子を東京に勤めさせている近所の杉山老人は、三平よりも息子の方を出世させたい一心から、三平が帰郷する度に根掘り葉掘り三平の給料を聞き出す。

直に味気ないものである、と三平はため息ばかり出る。

三平が帰京してみると早くも文子さんは新しいすうつを着込んで活躍中。

その留守は近隣の知恵子、幸枝、杉子の三人娘がミシんを借りて交替でつとめる事になつている。

しかし三平はそうして文子さんがPTAに熱中して、例へば未だ使える金だらいなども学校へ寄附してしまう事がどうも気にくわない文子さんは一向構わず、PTAと隣りの田崎夫人にたきつけられたでん機洗たく機の効用と人間の労働エネルギに関せる学理を三平に説く始末である。

土用のうしの日、三平はウナギが買えないので、うしの日には牛を食うのだという理くつで子供達に牛肉を買つてくれる。

その日、同僚の中島君が新潟へ転勤する事になつたのを知つた三平は、直ぐさま村上君にでん話して中島君のアパアトの部屋を引きついで借りるように進言する。

敏子さんの誤解も氷解して、吉日を選んで結婚式が挙げられた。

三平は貸衣裳屋からモウニんグを借りて文子さんと列席した。

続「市名雑感」③

K・K生

市名変更には礬聲換其他の費用を要する事は事実である。（但し一千万はサバを読みすぎる）然しそれは一時的の出費に過ぎない。他人の懐だからと思つて軽く云うとお叱りうけるかもしれないが、現状維持でゆく場合であつても矢張りそれ以上の負担を、誰かが支払はねばならぬ事も計算して頂きたい。

金を貸す程あるからいいだろうと云つて了いばそれ迄だが、各銀行は現在の小名浜支店を磐城支店に改称するのには、塗替費だけにとどまらず、全国の何千と云う取引銀行にワタリをつけねばならない費用は問題でなくても小名浜を磐城と変へては重大なる支障を来す為、合併して一年八カ月経ても改称しようともしない会社其他に日本水素、小名浜臨港鉄道、専売公社、新日本化学、常磐交通、郵便局、測候所等々があり、それらは小名浜の旧町名への愛着心や一時的出費を恐れての旧現状維持では決してないのである。

江名側では今回の市名変更を一部の者の陰謀と攻撃してるが、旧小名浜の場合は江名とは逆に指導層が風当りを恐れて逃げていたのをちまたの厳しい鞭撻の声に堪え切れずに漸やく尻を上げたというのが偽らざる実状で、藤社大一議員の意見発表は単なる導火線の役割を果したに過ぎない。

議員が尻たたきされてる旧小名浜と、遠藤勝馬氏を除く全議員が部落根性から磐城市々会議員の肩書を忘れ、江名町会議員に逆戻りして壇上から大衆を煽動してる旧江名と、誠に対照的で面白いと思うどちらが本当の与論を基盤としてるか判断してみて頂きたい。

こうした問題は泥仕合はよしてあくまでフエヤーでやるべきだ。お互いに静かに話し合いば判ることだし、どちらに決つたところで笑つて手を握れると思う。同じ日本人であり、然もチツポケな田舎町で嫁にやつたり貰つたり何かとつながりの多い対外的にいはば一家と同じ間柄ではなかろうか。

近所に類似した屋号の店があつて商売に影響するから、どうせ開店したばかりで売れてる屋号でもなし、今のうち恵比須屋にしようという息子の意見に、家内一同から親戚まで賛成し、お客さんまでそれがいいと云つてくれるのに、親ぢ一人が大黒屋というのはおれがつけた屋号だから、何んでもカンでも大黒屋でなければカホにかかわる、倒産するまで覚悟だなんてヤブレカブレを言つては、個人ならとも角自治体の場合は市民全体が大きに迷惑する。

屋号が出たので余談に移るがこの町にも随分変つた名称が多い。さし障りを前以てお詫びして列記して見ると、

ニツポン、アメリカ、ジヤバ、テンジク、ドウズの国際型、

動物性にはカラス、トンビ、ブタフグ、シビ、マンボー、ブンブクインキヨ、ゴケ、デコ、デビダイノンベイ、オハナサンあり、ゴボウ、スイカン、オサカブ、チヨンクク、ガンタ、ボタモチは植物性ヤクシ、ホーシヨウイン、カネモチ、オビメサマ、カンノンベツトウ、シヨーサイサマという有難いのや、サンジヤク、ニブゴリン、ダイマスの度量衡、オテンキ、テンテン、アメザワの気象型。

分類不明にアンダ、トんカ、トドロ、ネマモ、ケボ、デマ、チヂレズウラ、アテブチ、ブんマケ、トんチん、チヤんカラ、オオマトイと際限なく、テツポー、バツタリアブナイ、トツテカシヨ（鉄砲バツタリ危い取つて置かしよ）となつては吹き出したくなる。

どんな名前でも知られているという事は有難いもので、何野某と姓名を云つては近所となりで首をひねるのに、ニツポンはどこだんべと聞けば、随分遠くの人でも判るのは不思議な位である。

市名も同様、磐城市では浜通りの人達で知らない人が多いのに小名浜となると、九州から北海道の涯の人までああの辺かと知つている。（日に何回となく繰返すラジオの力が大きい）

續目白三平
絶讃に応えて再び贈る
愛とユーモアの傑作
笠智衆　小林桂樹
堀雄二　中原ひとみ
親馬鹿子守唄
大爆笑　日本中が腹をかゝえるモノスゴイ可笑しさ
榎健本一　柳家金語楼
星美智子　有島一郎
14日―17日
上映
小名浜 キンビ館

忘年。新年宴会には
大小に拘わらず御相談に応じます
是非御利用下さい
◇ 50疊敷の大廣間 ◇
割烹旅館
小名浜公園内
萬荘
電話二七五番
温泉旅館
加賀白山の湯花投入
お湯は早朝より有ります

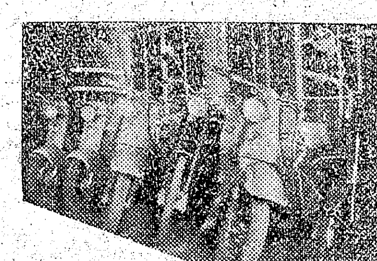
ネオン・電飾
夜景に生きるネオンの偉力
設計施行
アド・ネオン
平市新田町　電（平）七一番

洋服は…　技術もスタイルも価格もきつと御満足を得られる
紳士服　婦人服
箱崎洋服店
磐城市松之中（水素前駅通り）

お正月の晴着と
御婚礼衣裳

☆特製防寒コート陳列☆
☆七五三のお祝着特賣☆
高級呉服と實用衣料
かみや
平本店　TEL二五六・二〇一四
小名浜支店　竹町　TEL九四

●開店御知らせ
毎度御引立を蒙り有り難く厚く御礼申上げます
扨て此の度皆様の御要望に依り軽自動二輪車モーターバイク並スクーター等の販売修理の専門店として左記の場所に開店致しました いづれも素晴しい性能を有する一流メーカー品のみを豊富に取揃へ優秀な技術陣と設備を以つて御奉仕申し上げますから何卒御気軽に御出下さいまして皆様のサービス工場として是非御利用下さいます様御願ひ申上げます
ツバサ号（二五〇CC）ダイハツ製
トーハツ号（一二五CC）東京発動機製
ポップスクーター（一二五CC）ヒラノ製
ナカジマスクーター（一二五CC）中島製
ベビーランナー（九〇CC）日米商店製
代理店
運輸省認定　小型一級整備工場
通商産業省認可　日本工業規格表示工場
有限会社　宮下商會　バイクモーター部
磐城市字定西（四五九番）
第二小学校前（宮下タイヤ部隣）



産科・婦人科
白鳥醫院
小名浜臨港駅前
電話七三五番